



元号が「令和」になり、新しい時代の到来が感じられます。子どもたちがこれからの変化の激しい時代をたくましく生きていけるようにすることは、近江八幡市をより活力あるものにするために不可欠なことです。

そこで、すべての子どもたちがのびのびといろいろなことに挑戦し、活躍できる力を育むため、今年度は次の3つを教育行政の柱としました。



問 学校教育課 TEL (36) 5 5 3 0 FAX (32) 3 3 5 2

令和元年度 (平成31年度)

教育行政基本方針 三つの柱

『早寝・早起き・あいさつ』『読書』『運動』の拡充



『早寝・早起き』『あいさつ』『食事』『読書』『運動』は、生涯必要となる基本的生活習慣の根幹となるもので、本市の教育施策のすべてがこの運動につながっています。

早寝・早起き

眠りが心身を休養させ、からだをつくり、心を強くし、学ぶ意欲を高めます。早起きが習慣化すれば、正しい生活リズムがつくれます。

あいさつ

あいさつには「心をひらく」「その心に近づく」という意味があります。コミュニケーションの大切な第一歩です。

し(食事)

朝食は一日の元気の源、一日の始まりの大切な食事です。朝ごはんのエネルギーで体温が上がり、脳と体の働きが活発になります。

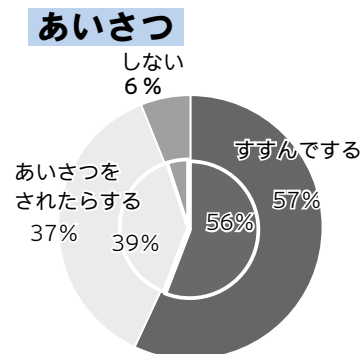
ど(読書)

心と言葉を豊かにします。言葉を増やす、自分の意見をもつ、新しいアイデアや表現方法を得ることなどにつながります。

う(運動)

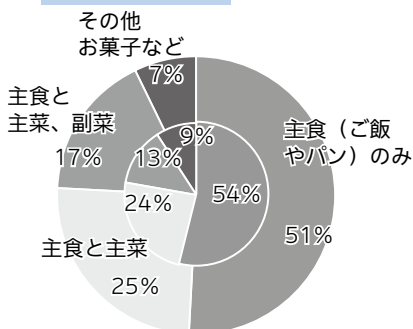
たくましく生きるための健康や体力を養います。運動は食欲を増進し、心地よい疲れをもたらします。

平成30年度に幼稚園・保育所・子ども園児から中学生までの子どもたちを対象として実施したアンケートの結果をご覧のとおり少し紹介します。良い面はさらに伸ばしながら、課題に対しては保護者や地域の協力を得て、改善してまいります。



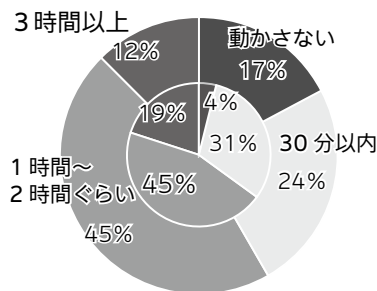
ほとんどの子どもは家族や友達にあいさつをしています。

朝食の内容



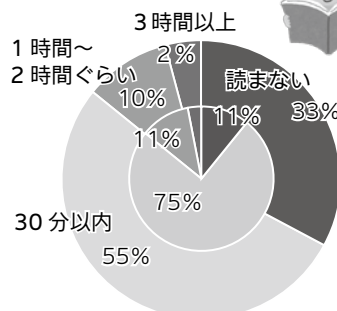
バランスのよい朝食をとっている子どもの割合は増加しています。

運動



読書や運動の習慣には課題があります。

読書



円グラフ
内側 平成27年度 外側 平成30年度
それぞれのアンケート結果



むしやりんどうをヨシペンとヨシ紙を使ってスケッチした武佐小3年生

『ふるさと教育』の充実

ふるさとに愛着と誇りをもつ

自分が生まれ育った地域（ふるさと）のことを学ぶことで、地域の良さに気付くことができます。気付くことが学びのきっかけになり、学び続ける意欲につながります。各学校が地域の特色に応じたふるさと教育（学習）に取り組んでいます。ふるさと教育の学習活動を紹介します。

「むしやりんどう」に触れ、「むしやりんどう」を育てる人の思いを知る。

（武佐小学校）

学習を終えての児童の感想（抜粋）

・武佐町で見つかり名前の由来とされるシソ科の花・むしやりんどうには、白・ピンク・紫の色があることを知った。

・絶滅危惧種に指定されていて、地域の方が育て、守っていることを知った。

「学習の成果」

ふるさと武佐を学ぶ機会を重ねることで、ふるさと学習を児童が身近なものと感じ、意欲的に学ぶ姿が多く見られま

した。

安土信長ねぎや青ねぎを育てておられる農家を見学し、インタビュールを行い、安土信長ねぎと青ねぎのよさを家族に紹介する。（老蘇小学校）



安土信長ねぎを栽培する農家の人から話を聞く老蘇小3年生

『働き方改革』の推進

いま、社会全体で働き方改革が進められています。学校も同様です。

登校する子どもたちを迎えるために、朝早くから準備し、また、子どもたちが下校した後に学習の点検や翌日の授業の準備など、遅くまで残り仕事をしている教師は少なくありません。土・日曜もグラウンドや体育館などで部活動を行っています。これは全国の小・中学校の平均的な姿です。

これからの時代を生き抜くために、きちんと文章が理解できる力、答えのない問題に対し、自分で考え、仲

学習を終えての児童の感想（抜粋）

自分がしていきたいこと

・いろいろな人にあいさつする。
・老蘇のねぎ作りをたくさんの人に知ってもらう。

・町をきれいにするために自然や環境を大切にします。

「学習の成果」

ふるさとのまちの特色や農業を営む方々の思いに触れる活動を通して、ふるさとのよさを再発見し、応援したいという気持ちをもつことにつながりました。



間と協力して取り組む力、自分の意見を正確に伝える力などが重要といわれています。子どもたちにこれらの力を育むには、個々の子どもたちに応じたきめ細かな指導が必要になり、子どもと寄り添う時間の確保が重要になります。したがって、教師が疲弊せず、心にゆとりをもち、健康で生き生きと仕事に取り組め、本分である授業づくりに専念できる環境づくりが大切です。子どもと向かい合う時間を確保し、教育の質の向上をめざすため、家庭や地域のご理解を得て取り組んでまいります。

学校業務全般について

◎教職員の勤務時間は学校によって異なりますが、午前8時20分～午後4時50分もしくは午前8時15分～午後4時45分のいずれかです。

◎定時退勤日（少なくとも1週間の中で1日）を学校ごとに設定し、原則、午後6時に学校を閉めます。

「火曜日」島・岡山・金田・桐原の各小学校

「水曜日」桐原東・馬淵の各小学校、すべての中学校

「金曜日」八幡・沖島・北里・武佐・安土、老蘇の各小学校

◎定時退勤日以外の日については、遅くとも原則午後8時には学校を閉めます。

◎長期休業中「学校閉庁日」を設けます。

「夏季」8月10日から8月16日までの7日間

「冬季」12月28日から1月4日までの8日間

中学校の部活動指導について

◎平日に休養日（ノー部活デー）を設けます。

◎土・日曜に部活動を行う場合、いずれか1日を休養日とします。

◎朝練習は、原則として実施しません。

